

# 86

**TBS**  
HOLDINGS

第86期中間報告書 平成24年4月1日—平成24年9月30日





代表取締役社長

石原修爾

## CONTENTS

### 目次

|             |    |
|-------------|----|
| ○株主の皆様へ     | 2  |
| ○連結事業概況     | 4  |
| ○連結財務諸表（要約） | 10 |
| ○企業集団の概略    | 11 |
| ○当社の現況      | 12 |
| ○ネットワーク     | 14 |
| ○株主メモ       | 16 |

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第86期事業年度第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から9月30日まで）の事業概況を中間報告書としてとりまとめましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当期の日本経済は、引き続き厳しい状況で推移しておりますが、当社グループは、経営環境の変化に適切かつ迅速に対応し、持続的な成長を目指してまいります。

当社グループの中核である、TBSテレビにおきましては、上期の視聴率が前年度を下回る結果となりました。一日も早く上位争いに食い込めるよう、積極的な番組改編、番組の内容強化や企画の見直しなどに取り組んでいるところです。TBSらしい良質な番組をお届けし、番組を見た後に有意義なひと時を過ごしたと言ってもらえるよう、尽力してまいります。

昨年子会社化した株式会社BS-TBSは、当社グループにおいて、現在最も成長しているメディアであり、媒体価値の評価が日々高まっております。この勢いに弾みをつけつつ、引き続き最大限当社グループで

のシナジーを図ってまいります。

株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズは、8月の聴取率調査においてもトップを記録し、67期連続首位の座を守り続けております。しかし、ラジオをとりまく環境は厳しさを増しており、コストコントロールを徹底し、収益の確保を目指してまいります。

映像・文化事業部門では、4月公開の映画「劇場版SPEC〜天〜」が健闘いたしました。人気ドラマの映画化ですが、映画公開直前に特別番組を放送したり、DVDやゲームなど関連商品をマルチに展開したりしたことが相乗効果を生みました。デバイスの多様化と収益の多角化に対応した成功例と考えており、今後も同様の試みを模索してまいります。映画、イベント、payテレビ、ショッピングといった既存の分野に加え、新規事業も収益源とすべく挑戦しております。日本経済新聞社との業務提携により、アジア等海外へのコンテンツ展開や、スマートフォン向けアプリの配信などが当期に実現しました。

当社グループは、企業価値向上と、株主の皆様共同の利益の最大化を追求するため、引き続き以下三つの課題に取り組んでまいります。まず、グループの中核

である「放送事業の強化」。二つ目は、「収入源の多角的な拡大」を図ること、そして、最後に「グループ全体の収益力向上」です。

政治・経済が不安定で、先行き不透明感がありますが、当社グループ最大の持ち味である「人間力」を結集して、様々な課題を克服し、株主価値のさらなる向上を目指してまいりたいと考えております。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき7円、支払開始日は12月7日とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループに対し変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

## BUSINESS OVERVIEW



当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から9月30日まで)における日本経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー減税の下支え効果などもあり、緩やかながら回復基調が続いていましたが、長引く円高や海外経済の減速の影響で、夏頃から下振れ圧力が強まりました。景気の踊り場入りで当面弱めの動きが続くと見られるなか、9月には、日中関係の悪化から「中国リスク」も深刻化してマイナスの影響が拡大し、不透明感を増してきています。

放送業界におきましては、昨年の震災による影響の反動で、第1四半期は広告市場が堅調に推移し前年同期の実績を大きく上回りましたが、第2四半期に入ると徐々に陰りが見えはじめました。

このような状況のもとで、当社グループは、基幹となる地上波テレビ番組のさらなる強化に注力する一方、赤坂サカスでのイベント活動を通じて事業収入・営業収入の積み上げを図るなど、広範囲な事業分野での収益確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が1,724億1千万円で前年同期に比べ4.0%の増収となり、経常利益は58億5千万円で前年同期に比べ58.6%の増益となりました。しかし、最終損益は、投資有価証券評価損など特別損失の計上の影響で59億4千7百万円の四半期純損失となり、前年同期に比べ64億1千9百万円悪化いたしました。

## BROADCASTING

当第2四半期連結累計期間における放送事業の売上高は、1,044億6千1百万円で前年同期に比べ7.9%の増収となり、営業損失は12億2百万円で、前年同期に比べ9億3千3百万円損失幅が縮小いたしました。



サマーレスキュー〜天空の診療所〜

## TELEVISION

地上波テレビのタイムセールスにおきましては、レギュラー番組セールスが前年同期並みの実績を確保したほか、単発番組セールスも「ロンドンオリンピック バレーボール世界最終予選」、サッカー「EURO2012」「ロンドンオリンピック」など、大型スポーツ番組が売上に寄与して前年同期の実績を上回りました。

スポットセールスにおきましては、昨年の震災による影響の反動で、第1四半期は前年同期の実績を大きく上回りました。その後、第2四半期に入って、東京地区におけるスポットCM投下量は減少傾向を示しましたが、上期のトータルでは前年同期の実績を上回ることができました。

業種別では、「自動車・輸送機器」が前年同期から大幅な反動増になりました。このほか、「食品」「情報・通信・放送」といった分野も堅調な伸びを示しましたが、「酒・飲料」「医薬品」は前年同期の実績を下回りました。



ハンチョウ～警視庁安積班～



ぴったんこカン・カン



爆報！THE フライデー

当第2四半期連結累計期間におけるTBSテレビの平均視聴率は、全日帯が6.5%と前年同期を0.3ポイント下回ったほか、ゴールデンタイム9.2%、プライムタイム9.3%と、両時間帯とも前年同期を0.9ポイント下回りました。

バラエティでは、依然好調を持続している「ぴったんこカン・カン」「中居正広の金曜日のスマたちへ」に続いて、「爆報！THE フライデー」も視聴者の支持を集めはじめなど、金曜夜の編成が良好に推移しています。新たなスポーツバラエティのスタイルを確立しつつある月曜の「炎の体育会TV」は、10月改編で土曜の19時枠に移行するとともに、企画内容の強化に努めて視聴者層のさらなる拡大を図っています。このほか、「もてもてナインティナイン」の視聴率が上昇傾向を示す一方、「ひみつの嵐ちゃん！」も、若年層を中心に人気を維持しています。単発番組では、「スパモク!!」枠で放送した「明石家さんまのずっとあなたが好きだった！」が、14.6%の視聴率を

獲得しました。また、各局クイズ番組の垣根を越えた日本一のクイズ王決定戦「THEクイズ神」や恒例の「オールスター感謝祭」「キングオブコント」も、2桁台の視聴率をマークしています。昨年放送して好評を博した大型音楽番組「音楽の日」は、今年も7月に、豪華アーティスト陣の競演による3時間半の生放送を実現し、視聴者の期待に応えました。

ドラマでは、日曜劇場「ATARU(アタル)」が幅広い視聴者層の支持を得て、平均15.6%の視聴率を記録しました。同じく日曜劇場の「サマーレスキュー～天空の診療所～」や「ハンチョウ～警視庁安積班～」といった連続ドラマも、2桁台の平均視聴率を獲得しています。単発企画では、3夜連続のスペシャルドラマ「ブラックボード～時代と戦った教師たち～」が、移り変わる時代を背景に、教育という大きなテーマに立ち向かう教師の姿を描いて高い評価を得ました。このほか、沢尻エリカ主演の「悪





もてもてナインティナイン



Nスタ



みのもんたの朝ズバッ!



オールスター感謝祭



NEWS23クロス



ひるおび!

女について」、上戸 彩主演の「金子みすゞ物語-みんなちがって、みんないい-」といったスペシャルドラマも話題を呼びました。

スポーツでは、ロンドンオリンピックの熱戦を連日お伝えし、サッカーの女子予選「日本vs南アフリカ」が20.4%、男子準決勝「日本vsメキシコ」は17.8%、バレーボール女子予選「日本vsロシア」も13.6%をマークするなど、注目の競技が高い視聴率を記録して、関心の高さをうかがわせました。このほか、フジテレビと共同放送した「ロンドンオリンピック バレーボール世界最終予選」も、良好な成績を収めています。

報道部門では、「Nスタ」と「NEWS23クロス」の二枚看板を中心に、日々良質なニュースの発信に努めるとともに、JNN三陸臨時支局を中心に、東日本大震災関連の取材にも継続して取り組みました。震災から1年半の節目には、原発事故をテーマに報道スペシャル番組を放送す

るなど、震災と被災地の「今」を追い続けています。

情報系ベルト番組の「みのもんたの朝ズバッ!」「ひるおび!」は、話題性に富んだニュースや時事問題を幅広く取り上げ、わかりやすく伝えることに努め、視聴者の安定した支持を得ています。

BS放送は、基幹メディアとして着実に認知度が高まる反面、今年3月の新規開局を含めると計31チャンネルに増加するなど、競争が激化しています。このような環境のもとで、株式会社BS-TBSは、ゴルフトーナメントの完全生中継や、4月スタートの「謎解き! 江戸のスミ」「みんな子どもだった」「ニュース少年探偵団」など、魅力ある番組作りに取り組む一方、営業・編成一体となったセールス活動を展開して、当第2四半期連結累計期間における過去最高の売上を達成しています。

\*視聴率は世帯視聴率。ビデオリサーチ調べ(関東地区)



ビビる大木(月曜担当)



赤江珠緒(月～木担当)



小林 悠(金曜担当)



山里亮太(火曜担当)

たまむすび



LINDA！～今夜はあなたをねらい撃ち～

タイムセールスにおきましては、トイレタリー関連や健康食品関係の広告出稿が堅調に推移しました。また、良好な聴取率にもかかわらず低調なセールスが続いた深夜帯に、音楽関係や自動車関連のスポンサー企業が新規提供するなど、新たな動きもありました。しかし、全国ネット番組とナイター中継のネットスポンサー減少をカバーするまでには至らず、前年同期の実績を下回りました。

スポットセールスにおきましては、番組パーソナリティーによる生コマーシャルが、引き続き好評でした。また、トイレタリー関連や健康食品関係などの広告出稿も堅調に推移しましたが、やはりネットスポンサーの減少が響いて前年同期の実績を下回りました。

編成面では、平日の午後帯に新たなワイド番組「たまむすび」をスタートさせ、月曜日から木曜日の赤江珠緒と金曜日のTBSアナウンサー小林 悠の両女性パーソナリティーが、ビビる大木や南海キャンディーズの山里亮太といった個性派の曜日パートナーを迎えて、聴取率

も好調に推移しています。さらに、平日深夜0時から、アンタッチャブル柴田がパーソナリティーを務める生放送「LINDA！～今夜はあなたをねらい撃ち～」を編成し、若年層を中心にリスナーの拡大を図っています。首都圏の個人聴取率調査では、好調が続く平日のワイド番組が牽引役になって67期連続でトップとなり、足掛け12年にわたって首都圏ラジオのリーディングカンパニーの座を堅持しています。

放送関連事業では、赤坂BLITZを主な拠点に、コンサート音源の収録と終了後の有料配信をビジネス化した「T2D」事業を立ち上げ、音楽業界からも注目されています。また、ハウジング事業は引き続き費用削減に努めており、放送関連事業トータルとしては、ほぼ前年同期並みの利益をあげることができました。

## MULTI VISUAL VENTURES AND CULTURAL EVENTS



インカ帝国展—マチュピチュ「発見」100年  
©TBS/Toppan 2012



熊川哲也K/Balee カンパニー  
海賊  
©Shunki Ogawa



劇場版 SPEC〜天〜  
©2012「SPEC〜天〜」製作委員会

映像・文化事業の売上高は、601億6千7百万円で前年同期に比べ1.8%の減収となりましたが、営業利益は24億5千9百万円で、前年同期に比べ109.1%の増益となりました。

イベントの分野では、新たにオープンした東急シアターオーブのこけら落とし公演「ウエスト・サイド・ストーリー」や、エルヴィス・プレスリーらの往年のヒットメロディーがステージを彩る「ミリオンダラー・カルテット」といったブロードウェイ招聘公演が盛況でした。

赤坂ACTシアターでは、佐藤 健・石原さとみの共演で注目を集めた「ロミオ&ジュリエット」、高橋克典・坂口憲二らの殺陣が話題を呼んだ「舞台 十三人の刺客」、ブロードウェイ進出を果たした米倉涼子の凱旋公演「CHICAGO (シカゴ)」など、バラエティーに富んだ作品を上演しました。また、根強い人気に支えられている熊川哲也K/Balee カンパニーは、「海賊」Triple Bill (トリプル・ビル) の両公演でファンを魅了しました。

展覧会関係では、考古学・人類学・歴史学の3つの視点からインカ帝国の全貌に迫った「インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年」が国立科学博物館で開催され、目標を大幅に上回る45万人超の来場者数を記録しました。また、国立西洋美術館で開催された「ベルリン国立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年」も、40万人を超える動員を達成しています。このほか、科学の面白さ

や奥深さを体感できる特別展「元素のふしぎ」も好評でした。

映像・ソフトビジネスの分野では、4月公開の映画「劇場版 SPEC〜天〜」が、ソーシャルゲームや出版などのマルチ展開でブームアップを図り、23億円を突破する興行収入を記録しました。このほか、劇場映画では、「ももへの手紙」「ガール」「天地明察」などの作品を公開しました。昨年12月公開のアニメ映画「けいおん!」は、7月にブルーレイディスク・DVD化されて、良好な売れ行きを示しています。DVDでは、「SPEC (スペック)」シリーズがファンの支持を得ているほか、「最高の人生の終り方〜エンディングプランナー〜」やブルーレイディスク版の「南極大陸」といった作品も好評です。アニメでは、「僕は友達が少ない」「アマガミSS+ plus」などの人気が高く、夏に開催した「TBSアニメフェスタ2012」はチケットが完売になるなど、盛況のうちに幕を閉じています。

番組販売ビジネスでは、番組のコンセプトを販売する海外向けのフォーマット・セールスが好調で、「SASUKE (サスケ)」は150を超える国と地域に販売されています。さらに、アメリカ・マレーシア・シンガポールでは、完全現地版の番組が制作されて好評を博しているほか、ヨーロッパ各国でも完全現地版の制作が予定されています。また、台湾に販売した「大奥」は、日本の連続ドラマとして初めて、日本での放送翌日に放送されることにな





ガール  
©2012 "GIRL" Movie Project

りました。

ペイテレビビジネスでは、動画配信サービスの「TBS オンデマンド」が、NTTドコモやKDDIなどの通信キャリアが運営する定額見放題サービスにいち早く対応し、ドラマ「SPEC(スペック)」「ATARU(アタル)」などの人気コンテンツで売上を大幅に伸ばしました。CS放送では、今年7月に10周年を迎えた「TBSチャンネル」が、東経110度のCS放送をHD(ハイビジョン)化するなどサービスの強化に努め、「TBSニュースバード」とともに、着実に加入者数を伸ばしています。さらに、10月には「TBSチャンネル2」が新たに開局となり、TBSのCS放送は3チャンネル体制で、さらなる加入者の拡大を図っています。

ライセンスビジネスでは、東京スカイツリーに、在京民放5局による番組関連商品の協同店舗「Tree Village(ツリービレッジ)」をオープンしました。ドラマ「ATARU」で、主人公が持ち歩くデグーねずみのレプリカぬいぐるみマスコットは人気を呼んで、番組終了後も売れ続ける息の長いヒット商品になっています。また、11種類発売されている「SPEC」関連の書籍は、映画「劇場版 SPEC～天～」の公開も追い風になって累計91万部の売上を記録しています。

デジタルビジネスでは、TBSとして本格参入した、自社開発初のソーシャルゲーム「SPEC～カードコレクション」が好評で、新たな収益源になる可能性を示してくれ



ました。また、大学生協などの協力を得て、首都圏の15大学で展開してきたデジタルサイネージ(電子看板)ビジネスは、全国50以上の大学に導入されるなど順調に拡大しています。

不動産事業

## REAL ESTATE BUSINESS

不動産事業の売上高は、77億8千1百万円で前年同様に比べ1.6%の増収となり、営業利益は36億4千3百万円で、前年同様に比べ9.0%の増益となりました。

開業5年目を迎えた「赤坂サカス」は、各種の興行や「Sacac広場」で開催される様々なイベントを通じて、文化・エンタテインメントの発信地としての人気を確立しています。赤坂Bizタワーの商業施設は、ようやく震災の影響から脱しはじめ、売上が回復基調にあるほか、住宅施設の赤坂 ザ レジデンスも、引き続き高い成約率を維持しています。



## 連結財務諸表（要約）

### 連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 区 分           | 当第2四半期<br>連結会計期間末<br>(平成24年9月30日現在) | 前第2四半期<br>連結会計期間末<br>(平成23年9月30日現在)<br>(ご参考) | 前連結会計年度末<br>(平成24年3月31日現在)<br>(ご参考) |
|---------------|-------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------|
| (資産の部)        |                                     |                                              |                                     |
| 流動資産          | 144,612                             | 131,835                                      | 146,368                             |
| 固定資産          | 385,933                             | 397,250                                      | 408,790                             |
| 有形固定資産        | 211,863                             | 216,930                                      | 214,044                             |
| 無形固定資産        | 29,837                              | 32,008                                       | 31,497                              |
| 投資その他の資産      | 144,232                             | 148,311                                      | 163,248                             |
| 資産合計          | 530,546                             | 529,086                                      | 555,159                             |
| (負債の部)        |                                     |                                              |                                     |
| 流動負債          | 78,148                              | 84,655                                       | 95,156                              |
| 固定負債          | 142,226                             | 148,022                                      | 137,405                             |
| 負債合計          | 220,374                             | 232,678                                      | 232,561                             |
| (純資産の部)       |                                     |                                              |                                     |
| 株主資本          | 281,098                             | 278,120                                      | 288,572                             |
| 資本金           | 54,986                              | 54,986                                       | 54,986                              |
| 資本剰余金         | 60,254                              | 60,254                                       | 60,254                              |
| 利益剰余金         | 214,829                             | 211,850                                      | 222,303                             |
| 自己株式          | △48,973                             | △48,971                                      | △48,972                             |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,253                              | 5,513                                        | 19,785                              |
| 少数株主持分        | 14,819                              | 12,774                                       | 14,238                              |
| 純資産合計         | 310,171                             | 296,407                                      | 322,597                             |
| 負債・純資産合計      | 530,546                             | 529,086                                      | 555,159                             |

### 連結損益計算書

（単位：百万円）

| 区 分             | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>(自平成24年4月1日<br>至平成24年9月30日) | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>(自平成23年4月1日<br>至平成23年9月30日)<br>(ご参考) | 前連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日)<br>(ご参考) |
|-----------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 売上高             | 172,410                                         | 165,759                                                  | 346,538                                         |
| 売上原価            | 123,351                                         | 120,024                                                  | 244,086                                         |
| 売上総利益           | 49,058                                          | 45,735                                                   | 102,451                                         |
| 販売費及び一般管理費      | 44,161                                          | 43,354                                                   | 90,288                                          |
| 営業利益            | 4,897                                           | 2,380                                                    | 12,162                                          |
| 営業外収益           | 2,129                                           | 2,554                                                    | 4,429                                           |
| 営業外費用           | 1,176                                           | 1,246                                                    | 2,279                                           |
| 経常利益            | 5,850                                           | 3,688                                                    | 14,313                                          |
| 特別利益            | 1                                               | 214                                                      | 6,471                                           |
| 特別損失            | 9,372                                           | 1,782                                                    | 3,330                                           |
| 税金等調整前四半期純損益    | △3,520                                          | 2,120                                                    | 17,454                                          |
| 法人税、住民税及び事業税    | 1,223                                           | 1,109                                                    | 3,956                                           |
| 法人税等調整額         | 551                                             | 876                                                      | 362                                             |
| 少数株主損益調整前四半期純損益 | △5,295                                          | 133                                                      | 13,135                                          |
| 少数株主利益（△損失）     | 651                                             | △339                                                     | 1,463                                           |
| 四半期純利益（△純損失）    | △5,947                                          | 472                                                      | 11,671                                          |

### 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

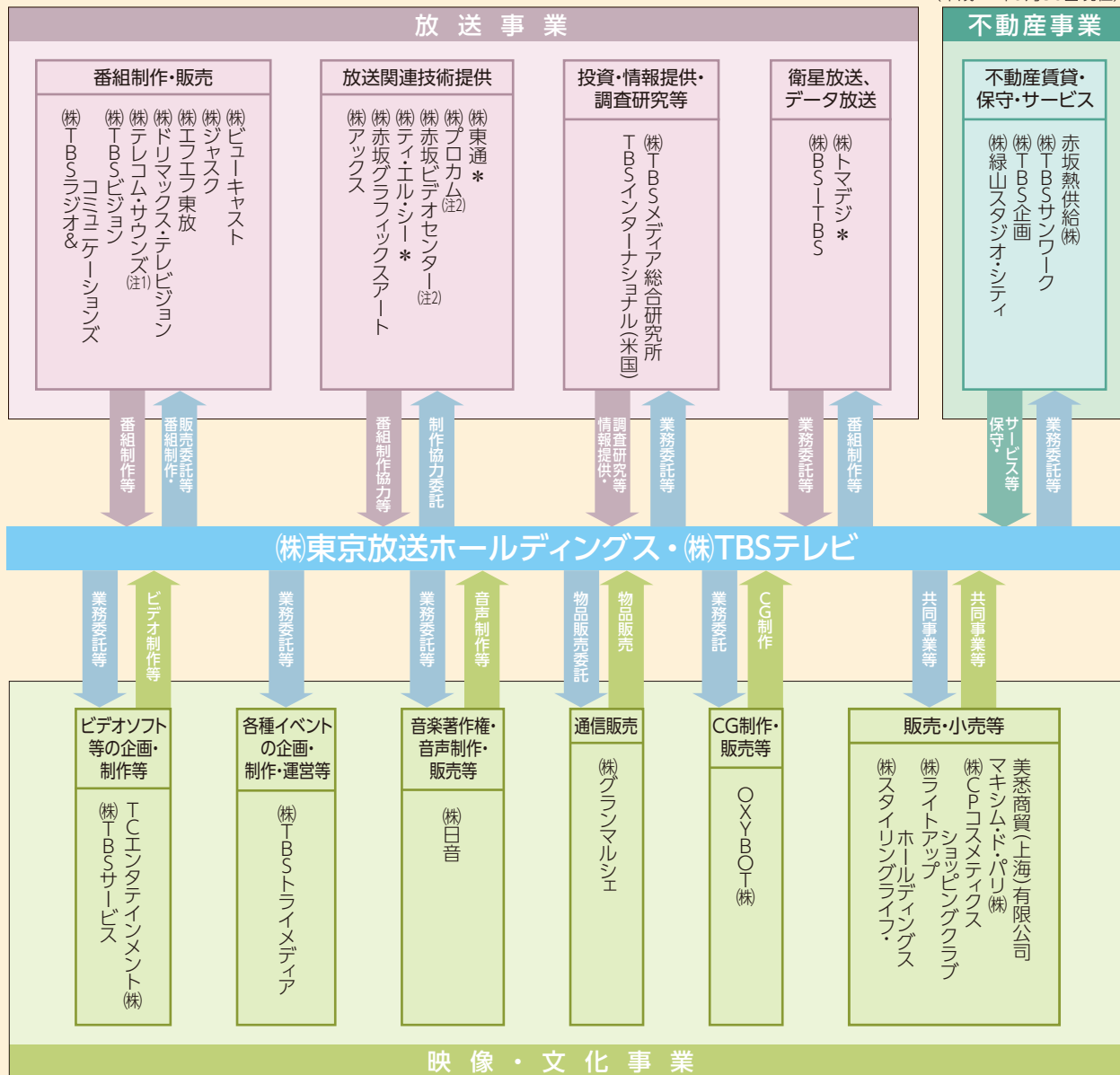
| 区 分                 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>(自平成24年4月1日<br>至平成24年9月30日) | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>(自平成23年4月1日<br>至平成23年9月30日)<br>(ご参考) | 前連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日)<br>(ご参考) |
|---------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 14,469                                          | 9,590                                                    | 30,072                                          |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △14,300                                         | △13,187                                                  | △5,731                                          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △3,168                                          | △5,899                                                   | △16,993                                         |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △3,013                                          | △9,510                                                   | 7,367                                           |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 78,801                                          | 71,434                                                   | 71,434                                          |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 75,788                                          | 61,924                                                   | 78,801                                          |

# TBSグループ

## — 企業集団の概略 —

\*は持分法適用会社であります。

(平成24年9月30日現在)



(注1) (株)テレコム・サウンズは、平成24年10月1日をもって、当社の子会社である(株)ティーエーシーを存続会社とする吸収合併を実施し、商号を(株)TBSプロネクسسに変更しました。

(注2) (株)赤坂ビデオセンターと(株)プロカムは、平成24年10月1日をもって、(株)プロカムを存続会社とする吸収合併を実施し、商号を(株)TBSテックスに変更しました。

## 当社の現況

### 会社の概要

(平成24年9月30日現在)

|       |                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創 立   | 昭和26年5月10日(設立登記5月17日)                                                                                                                          |
| 商 号   | 株式会社 東京放送ホールディングス<br>(略称 TBSホールディングス)                                                                                                          |
| 英文表示  | TOKYO BROADCASTING SYSTEM HOLDINGS, INC.                                                                                                       |
| 本 社   | 東京都港区赤坂五丁目3番6号(〒107-8006)                                                                                                                      |
| 資 本 金 | 54,986,892,896円                                                                                                                                |
| 事業内容  | 認定放送持株会社<br>傘下子会社およびグループの経営管理、不動産事業<br>○テレビ放送 JORX-DTV 22チャンネル<br>(リモコン 6チャンネル)<br>◇<br>BS-TBS 161チャンネル<br>(リモコン 6チャンネル)<br>○ラジオ放送 JOKR 954kHz |

### 株式の状況

(平成24年9月30日現在)

|                                         |              |             |
|-----------------------------------------|--------------|-------------|
| 発行可能株式総数                                | 400,000,000株 |             |
| 発行済株式の総数                                | 190,434,968株 |             |
| 株主数                                     | 12,600名      |             |
| 大株主およびその持株数(上位10名)                      |              |             |
| 株 主 名                                   | 持 株 数<br>(株) | 持株比率<br>(%) |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(退職給付信託口・株式会社電通口) | 9,310,500    | 6.09        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                 | 9,009,300    | 5.90        |
| 日本生命保険相互会社                              | 7,164,435    | 4.69        |
| 株 式 会 社 毎 日 放 送                         | 6,166,000    | 4.03        |
| 株式会社三井住友銀行                              | 5,745,267    | 3.76        |
| 三 井 不 動 産 株 式 会 社                       | 5,713,728    | 3.74        |
| 三 井 物 産 株 式 会 社                         | 4,288,000    | 2.80        |
| 株式会社ビックカメラ                              | 4,190,000    | 2.74        |
| 株 式 会 社 講 談 社                           | 3,771,200    | 2.47        |
| パナソニック株式会社                              | 3,083,180    | 2.02        |

- (注1) 当社は、平成24年9月30日現在、自己株式37,802,839株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
- (注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
- (注3) 当第2四半期連結会計期間末の外国人等の議決権に占める電波法上の割合は7.84%であります。
- (注4) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)の持株数9,310,500株は、株式会社電通が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであります。

取締役・監査役および執行役員

(平成24年9月30日現在)

|                |         |
|----------------|---------|
| 代表取締役<br>会 長   | 井 上 弘   |
| 代表取締役<br>副 会 長 | 財 津 敬 三 |
| 代表取締役<br>社 長   | 石 原 俊 爾 |
| 専務取締役          | 武 田 信 二 |
| 常務取締役          | 信 国 一 朗 |
| 常務取締役          | 豊 中 俊 榮 |
| 取 締 役          | 藤 田 徹 也 |
| 取 締 役          | 難 波 一 弘 |
| 取 締 役          | 加 藤 嘉 一 |
| 取 締 役          | 星 野 誠   |
| 取 締 役          | 新 田 良 一 |
| 取 締 役          | 平 本 和 生 |
| 取 締 役          | 山 本 雅 弘 |
| 取 締 役          | 檜 田 松 瑩 |
| 取 締 役          | 高 嶋 達 佳 |
| 取 締 役          | 朝比奈 豊   |
| 常勤監査役          | 小 川 邦 雄 |
| 常勤監査役          | 神 成 尚 史 |
| 監 査 役          | 岡部 敬一郎  |
| 監 査 役          | 田 中 健 生 |
| 監 査 役          | 明 石 康   |
| 執 行 役 員        | 元 田 進   |
| 執 行 役 員        | 田 代 冬 彦 |
| 執 行 役 員        | 桑波田 景信  |
| 執 行 役 員        | 入 江 清 彦 |

(注1) 取締役のうち、山本雅弘、檜田松瑩、高嶋達佳、朝比奈 豊の4氏は社外取締役であります。

(注2) 監査役のうち、岡部敬一郎、田中健生、明石 康の3氏は社外監査役であります。



# Network

TBSテレビとTBSラジオ&コミュニケーションズ

(TBS R&C) をキーステーションとする

テレビネットワークJNN (全国28局加盟) と

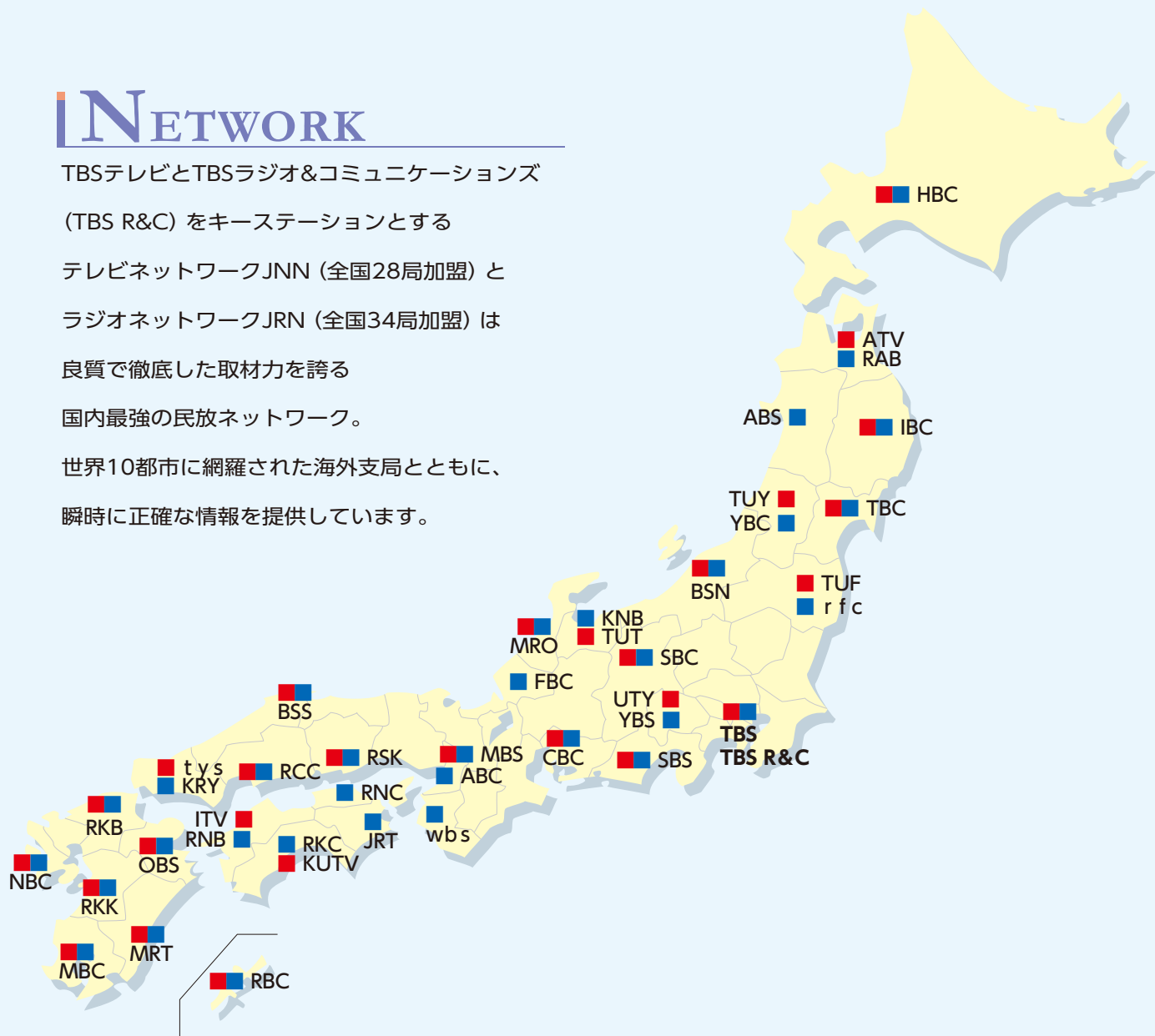
ラジオネットワークJRN (全国34局加盟) は

良質で徹底した取材力を誇る

国内最強の民放ネットワーク。

世界10都市に網羅された海外支局とともに、

瞬時に正確な情報を提供しています。



## 海外支局網



(Japan News Network)

|               |            |                   |
|---------------|------------|-------------------|
| HBC 北海道放送     | SBC 信越放送   | RKB RKB毎日放送       |
| ATV 青森テレビ     | SBS 静岡放送   | NBC 長崎放送          |
| IBC アイビーシー群衆  | CBC 中部日本放送 | RKK 熊本放送          |
| TBC 東北放送      | MBS 毎日放送   | OBS 大分放送          |
| TUY テレビユー山形   | RCC 中国放送   | MRT 宮崎放送          |
| TUF テレビユー福島   | BSS 山陰放送   | MBC 南日本放送         |
| UTY テレビ山梨     | tyt テレビ山口  | RBC 琉球放送          |
| BSN 新潟放送      | RSK 山陽放送   | <b>TBS TBSテレビ</b> |
| TUT チューリップテレビ | KUTV テレビ高知 |                   |
| MRO 北陸放送      | ITV あいテレビ  |                   |



(Japan Radio Network)

|              |            |                          |
|--------------|------------|--------------------------|
| HBC 北海道放送    | YBS 山梨放送   | RNB 南海放送                 |
| RAB 青森放送     | SBS 静岡放送   | RKC 高知放送                 |
| ABS 秋田放送     | CBC 中部日本放送 | RKB RKB毎日放送              |
| IBC アイビーシー群衆 | MBS 毎日放送   | NBC 長崎放送                 |
| YBC 山形放送     | ABC 朝日放送   | OBS 大分放送                 |
| TBC 東北放送     | wbs 和歌山放送  | RKK 熊本放送                 |
| rfc ラジオ福島    | BSS 山陰放送   | MRT 宮崎放送                 |
| BSN 新潟放送     | RSK 山陽放送   | MBC 南日本放送                |
| SBC 信越放送     | RCC 中国放送   | RBC 琉球放送                 |
| KNB 北日本放送    | KRY 山口放送   | <b>TBS TBSラジオ</b>        |
| MRO 北陸放送     | JRT 四国放送   | <b>R&amp;C コミュニケーション</b> |
| FBC 福井放送     | RNC 西日本放送  |                          |

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主  
権 定 日 3月31日

中間配当金受領株主  
権 定 日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

外国人等の株主名簿への記載又は記録の制限 放送法の規定にもとづき、当社定款には次の規定があります。  
定款第8条 当社は、次の各号に掲げる者（以下、「外国人等」という）のうち第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合とこれらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が当会社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿に記載又は記録することを拒むことができる。  
1.日本の国籍を有しない人  
2.外国政府又はその代表者  
3.外国の法人又は団体  
4.前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人又は団体

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL.0120-232-711（通話料無料）

上場金融商品取引所 東京証券取引所

単元未満株式の買取  
1単元の株式数 100株  
買取手数料 無料

公告の方法 東京都において発行する「毎日新聞」に掲載する。

インターネット  
ホームページ <http://www.tbsholdings.co.jp/>

【株式に関する手続きについて】

○ 証券会社等の口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容                                                              | お問合せ先                     |                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ 郵送物等の<br>発送と返戻に関するご照会<br>○ 支払期間経過後の<br>配当金に関するご照会<br>○ 株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿<br>管 理 人             | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部<br>〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL.0120-232-711（通話料無料） |
| ○ 上記以外のお手続き、ご照会等                                                          | 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 |                                                                                     |

○ 特別口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容                                                                           | お問合せ先          |                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ 特別口座から一般口座への振替請求<br>○ 単元未満株式の買取請求<br>○ 住所・氏名等のご変更<br>○ 特別口座の残高照会<br>○ 配当金の受領方法の指定（※） | 特別口座<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部<br>〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL.0120-232-711（通話料無料）                                                                                             |
| ○ 郵送物等の<br>発送と返戻に関するご照会<br>○ 支払期間経過後の<br>配当金に関するご照会<br>○ 株式事務に関する一般的なお問合せ              | 株主名簿<br>管 理 人  | <div>[手続き書類のご請求方法]<br/>○ 音声自動応答電話によるご請求<br/>0120-244-479（通話料無料）<br/><br/>○ インターネットによるダウンロード<br/><a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></div> |

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

【ご 注 意】

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 東京放送ホールディングス

〒107-8006 東京都港区赤坂五丁目3番6号  
TEL.03-3746-1111（代表）